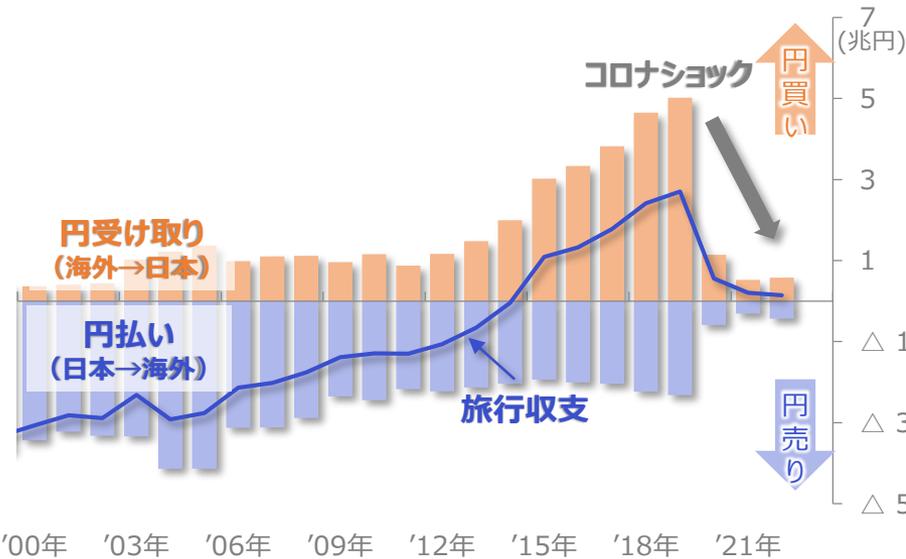


りそな 経済フラッシュ

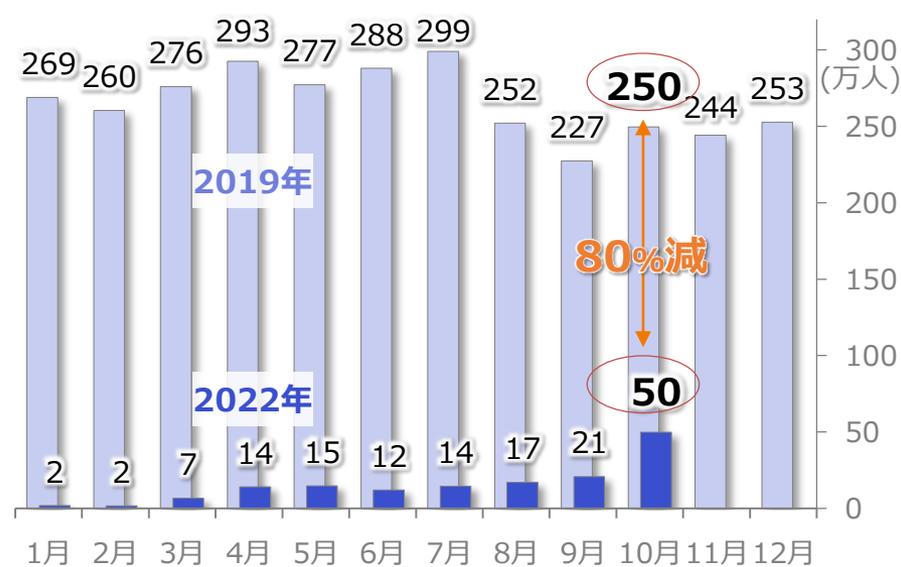
(旅行収支の回復に伴う円買い圧力)

- コロナショックで激減した訪日外客数は水際対策の緩和により徐々に回復、旅行収支も回復していくと見込まれる。
- コロナ前の水準に戻った場合、**年間2.7兆円**と為替介入と同程度の円買い要因。貿易と比較したインパクトは限定的であるものの、訪日外客数の3割を占めていた**中国の海外旅行の解禁**されるかに注目したい。

1. 旅行収支はコロナ前比で激減



3. 訪日外客数は緩やかに回復



2. 日本の水際対策の推移

年	水際対策	旅行収支
2019年	コロナ前、水際対策なし	2兆7千億円
2020年	3月から水際対策強化を開始	5千億円
2021年	11月から海外からの入国停止	2千億円
2022年	6月から観光目的入国を再開	1千億円

4. コロナ前に戻れば・・・

- ✓ 旅行収支は、コロナ前水準まで回復すると、9/22の介入規模(約2.8兆円)と同程度の**円買い要因**となる。(貿易赤字('22年初来で△13兆円)との比較ではインパクトは小さめ)
- ✓ 訪日外客数が元の水準に戻るためには、コロナショック前(2019年)の訪日外客数の3割を占めていた**中国の海外旅行の解禁がカギ**。

出所: 各種報道、日本政府観光局、bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、**弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。**また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることがあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。